

(別紙様式2)

令和5年度立川市学童クラブ待機児童対策計画

令和4年5月1日時点の学童クラブ待機児童数

202人

1 学童クラブの待機児童が発生している原因

学童保育所ごとに入所定員を設け安全な保育を実施しているが、地域の宅地開発や2022年問題による生産緑地の売買に伴う開発や集合住宅の建設で、ファミリー層の転入が増え、学童保育所の申請者数が施設整備を上回っていることが要因と考えられる。

2 学童クラブの待機児童を解消するための対策

(1) 方針

サマー学童保育所及び児童館ランドセル来館事業を実施する。また、拡充型放課後子ども教室を開設し、子どもの居場所の選択肢を増やすことにより学童保育所の待機児減少を図る。

(2) 具体策

小学校施設を利用し、夏季休業限定の保育「サマー学童保育所」を市内3か所で実施する。
放課後の安全安心な居場所を確保するため、学校から帰宅せず、ランドセルを背負ったまま直接児童館に登館する児童館ランドセル来館事業を行う。また、民間事業者へ委託し、拡充型放課後子ども教室を実施し、学校施設を利用し、子どもの居場所を確保する。

3 「学童クラブの待機児童を解消するための対策」を講じることによる効果

様々な形態の事業を行い、各家庭の実情に合った子どもの居場所を確保することで、学童保育所に集中していた子どもの居場所のニーズを分散させ、待機児童の解消を目指す。

4 これまでの推移

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
小学生児童数	8,613	8,625	8,637	8,599	8,630
増減	—	12	12	▲38	31
登録児童数	1,684	1,735	1,775	1,843	1,853
増減	—	51	40	68	10
待機児童数	217	213	159	202	155
増減	—	▲4	▲54	43	▲47

5 今後の見込

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
小学生児童数	8619	8586	8560	
増減	-11	-33	-26	
登録児童数	1916	1941	1953	
増減	63	25	12	
確保策の手法 (当該年度に新規で実施する手法)	拡充型放課後子ども教室の開設3校 サマー学童保育所の実施 ランドセル来館事業の実施	拡充型放課後子ども教室の開設4校 サマー学童保育所の実施 ランドセル来館事業の実施	拡充型放課後子ども教室の開設4校 サマー学童保育所の実施 ランドセル来館事業の実施	
待機児童数	202	212	0	
増減	47	10	▲212	
			▲155	